



© 2015 Takebe JHS

始業式の様子

2・3年生が、全員出席して令和6年度が始まりました。下駄箱で担任の先生を確認して、教室で一日の流れを確認しました。春休み期間は短いですが、大きく大人に一步前進した表情で始業式に臨むことができました。

始業式で校長から変化と挑戦を繰り返す1年間にして欲しいと話しました。また、令和6年度、建部中学校のソフトテニス部が御津中学校の希望者を受け入れる拠点校方式の部活動の説明を行いました。

生徒指導主事の片山先生からは「鳥のひなが卵の殻を破るとき、ひなと親鳥がタイミングを合わせて殻を内から、外からつつく。今年、一年、殻を破って成長して欲しい。」「今年のため学習は、建部地区の為に、自分ができるところを見つけて欲しい。」と話がありました。

今週から1学期に予定されている校外行事(1年防災研修・2年広島研修・3年修学旅行)の準備も始まりました。和気あいあいと話し合う姿が見られ、いいスタートが切れているようです。

入学式の様子

素晴らしい青空の元、満開の桜が咲き誇る良き日に、無事、入学式が挙行されました。御臨席いただいた来賓、保護者の皆様、ありがとうございました。

校長からは歓迎の言葉として「中学校の3年間は、子どもから大人に変わるだけでなく、今まで嫌だった自分を脱ぎ捨てて大きく成長する時です。自分ではできない、無理だという思い込みを捨てましょう。

「新しい、素晴らしい自分」に出会える大きな機会です。」と「脱皮」に例えて話をしました。この3年間で自分に合った進路を模索し、学力と体力を伸ばして欲しいと思います。

在校生を代表して3年生の河島さんは、歓迎の言葉で「分からないことがあれば、気兼ねなく私たちに声をかけてください。そして、一日でも早く色々な人と仲良くなってください。」「自ら学ぶ」これは、我が校の校訓です。「自ら学ぶ」とは、人に言われたことだけでなく、自分で考え自分から積極的に行動するという意味です。自分から進んで色々な事に取り組める中学生になってください。」と激励しました。

新入生を代表して佐藤さんは「私達は、複数の小学校から、建部中学校に入学した仲間です。お互いのことを知り、切磋琢磨しながら、共に成長できる関係を築いていきたいと思います。」と、新入生を代表して誓いの言葉を述べました。

お願い

学区の小学校でも入学式がありました。新入生は通学に不慣れで、上級生は気持ちのゆるみも出てくる頃です。通学に関して、温かく見守ると同時に、事故につながる危険な行為は、指導いただくと共に学校にご連絡いただくと幸いです。

